



2026度「連帯社会」連続講座

主催：公益社団法人 教育文化協会
連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込
Zoom 開催

「連帯社会研究交流センター」は、連合、教育文化協会、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第3回は、「社会的連帯経済と国際協働フィリピンとの連帯事例」をテーマに開催します。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

参加申し込みは、教育文化協会ウェブサイト上で行いますので、同サイトの「連帯社会」連続講座のページ <https://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/renzoku/> をご参照ください。なお、Zoom ミーティングへのログインに必要なURL、ID、パスコードなどの情報は、ウェブサイト上の参加申込書にご登録いただいた参加予定者の e-mail 宛に、ご連絡します。事前連絡等事務手続きの都合上、参加申込は開催当日の前々日 17:00 までとさせていただきます。

第3回：社会的連帯経済と国際協働フィリピンとの連帯事例

日時 2026年 11 月 21 日（土）15:00～16:40

場所 Zoom 開催 〈参加申込は 11 月 19 日（木）17:00 までをお願いします。〉

講師：ディッサ・シャキナ・アーダニサ博士
笹川平和財団・研究員

ディッサ・シャキナ・アーダニサ氏のプロフィール

笹川平和財団（SPF）平和構築支援グループの研究員。研究テーマは、包摂的経済と社会的企業／障害者の権利と経済的包摂／平和構築と経済参加／社会的企業政策とエコシステム開発。インドネシアで社会的企業 Fingertalk を設立。同企業はカフェ、手芸ワークショップ、ベーカリーなどの包摂的ビジネスを通じて、ろう青年たちに雇用と起業の機会を提供している。こうした障害者とともに歩む社会起業家としての実践経験が、現在の包摂的な経済開発へのアプローチの原点となっている。2019 年には、オバマ財団のアジア太平洋リーダーに選出された。

プログラム

Zoom 開催

15:00～16:00 講演

16:00～16:40 質疑応答

※連帯社会研究交流センター・ウェブサイトで参加申込いただいた方には、ご指定のメールアドレス宛に、Zoom 会議開催 URL、ログイン ID、パスコードをご連絡します。

～お問い合わせ～

連帯社会研究交流センター（ReCSS）

e-mail: recss@rengo-ilec.or.jp

URL: <https://www.rengo-ilec.or.jp/>